

症例 1 右上腕骨骨腫瘍 19 歳男性

右上腕骨に骨性隆起があり、本院整形外科で経過を見ていた。 手術目的で平成 14 年 8 月当院紹介となる。 右上腕に骨性隆起を触知する。



1年前より長時間の立位歩行にて左大腿部痛出現していた。 H14年4月に当院受診し、単純X線にて骨腫瘍を認める。 同部に腫瘤は触知せず。





症例 3 右季肋部軟部腫瘍 64 歳女性

平成 14 年 9 月より右季肋部の腫瘤を自覚 疼痛はなかったが、平成 14 年 12 月 27 日慈恵医大青戸病院を初診。右季肋部に 4cm 大の可動性のない腫瘤を触知

既往歴 高血圧



約1年前より腰痛出現、近医にて湿布等保存療法にて経過観察していたが、1か月前より右腰部の腫れに気づく。次第に増大したため MRI 等施行。当科紹介受診となる。

既往歴 特になし





症例 5 右脛骨骨腫瘍 69 歳男性

3年前より右膝の違和感があり、2年前より走ることができなくなった。H17年当院を受診し、単純X線にて骨腫瘍を認める。

既往歴 高血圧